

50.0%（全国平均52.4%）であった。

IV. 退任記念講義

平成22年1月30日（土）午後3時から大学1号館講堂において開催された。

馬詰 良樹 教授（分子生理学講座）

演 題：「気ままな生理学」

田嶋 尚子 教授（内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科）

演 題：「糖尿病の臨床疫学—私の歩いてきた道—」

基礎医学、臨床医学の分野で活躍された2教授の含蓄ある講義に学生及び教職員一同が大変感銘を受けた。次いで渡邊直熙副教学委員長から同じく定年退任される久保政勝教授（小児科学）、古幡博教授（ME研究室）、の略歴が紹介され、栗原敏学長より挨拶があり記念品が贈呈された。また、学生会より記念品並びに花束贈呈があり、同窓会、父兄会より記念品の贈呈があった。

退任記念講義終了後、退任される4教授を囲んで退任記念パーティーが「東京プリンスホテル・サンフラワーホール」にて開催された。会場には、教職員、同窓、学生が参集し、盛大なうちに会は終了した。

(2) 看護学科

I. 教学関係

1. 教学委員会

看護学科教学委員会は看護学科教学委員長1名、看護学科教学委員4名をもって構成され、教学委員会は定例として毎月1回開催されている。

教学委員は以下の通りである。

平成21年4月～平成22年3月

教学委員長 奥山 則子

教学委員 藤野 彰子、櫻井美代子

茅島 江子、平尾真智子

2. 教学関連の主な事項

- ① 平成21年度は、1年生（18期生）42名、2年生（17期生）41名、3年生（16期生）43名、4年生（15期生）35名で新学期をむかえた。
- ② 平成21年度オリエンテーションは、4月10日から16日に実施し、期間中のテーマを「私のキャリアデザイン」とし、徳永瑞子氏（聖母大学教授）による講演会（看護職として～これまで、いま、そして、これから～）やシンポジウム（テーマ～私のキャリアデザイン）を開催し、大変好評であった。また、健康診断や防災、防犯についての講習会、カルト教団への注意を喚起する講演も並行して行なわれた。
- ③ 平成21年度改正カリキュラムが1年生（18期生）に導入され、新規に開講された科目などの実際的な対応を行った。
- ④ 次の期間に定期試験を実施した。
 - ・前期 平成21年6月27日
平成21年8月31日～9月18日
 - ・後期 平成22年1月26日～2月6日
- ⑤ 平成21年7月25日、17期生の「看護への思いを新たにする式」の一環として、三村昭美氏（東京慈恵会医科大学附属病院看護部主任・・・本学3期生）による講演会が実施され、9月5日に本学関係者、ご父母をお招きし、式典を行った。
- ⑥ 平成21年10月9日、「看護継続ゼミ」の一環として、川田龍平氏（参議院議員）による講演会（テーマ～生きるって楽しい、と思える日本になるために）を開催した。
- ⑦ 平成21年10月10日には学祖高木兼寛先生の墓参があり、学生代表が参加した。
- ⑧ 平成21年10月28日には解剖諸霊位供養法会が行なわれ、4年生が参加した。

- ⑨ 平成21年11月28日、4年生の看護研究発表会が行なわれた。
- ⑩ 平成22年3月12日には医学科と合同の卒業式が西新橋で行なわれ、15期生35名が卒業し、慈大賞と同窓会賞がそれぞれ1名に贈られた。

II. 入学試験

1. 平成22年度入学試験は、平成22年2月10日（水）に一次試験を、2月13日（土）に二次試験を実施した。志願者数は、329名、入学者は42名、その内訳は次のとおりである。
 - ① 女子 40名、男子 2名
 - ② 現役 32名、1浪 8名、その他 2名
 - ③ 地域別入学者数

北海道地方	1名	東北地方	1名
東京および関東地方	35名	信越地方	4名
東海地方	0名	近畿地方	0名
中国・四国地方	0名	九州・沖縄地方	1名
2. 平成21年度オープンキャンパスは、平成21年7月28日（火）と8月25日（火）・26日（水）の3日間実施し、参加者数は481名であった。内訳は、7月が190名、8月が291名であった。
3. 受験生の確保を目的に、学外で開催された3箇所の大学ガイダンス等に分担して教員・学事課職員が参加した。
4. 高等学校53校へ訪問し、本学のピーアールや看護について進路指導の先生方へ説明し、看護について理解を深めてもらった。また、模擬授業も4校で実施した。

III. 国家試験

1. 看護師・保健師国家試験

第99回看護師国家試験は、平成22年2月21日（日）に、第96回保健師国家試験は平成22年2月19日（金）に実施され、その結果が3月26日（金）に発表された。

看護師国家試験は15期生35名が、保健師国家試験は15期生35名、既卒者1名が受験し、全員が合格した。

なお、全国の看護師国家試験合格率は89.5%、保健師国家試験合格率は86.6%であった。

IV. 学生生活アドバイザー

平成21年度より、学生生活を稔り豊かなものとするため、学習上や生活上の悩みを気軽に相談できる学生生活アドバイザー制度を導入した。1、2年生を対象とし、比較的若手の教員が4～5名の学生を担当し、前期・後期それぞれ1回の交流活動の他、適宜自由に活動を行なった。学生アンケートの結果は好評であった。

(3) 大学院

1. 医学研究科博士課程

平成19年度より大学院改革を実施し、以後大学院の改善充実を図るため種々検討を重ねてきた。平成21年度は大学院をより充実させるよう検討を行った。

主な項目は以下のとおりである。

- 1) 透明かつ公正な学位審査会の実施
 - ① 学外から審査委員を登用した。
 - ② 乙種の学位審査料を見直し、論文指導手当として指導教授に手当を配当する。（平成21年度受付分より）
- 2) 本学の研究の充実とその活性化を図るための実施
 - ① 平成21年度の医学研究科研究推進費の採択件数は6件となった。（前年度比+3）
 - ② 研究奨励費と振興費を統合し、新たな助成制度を創設するための検討を行っている。平成20年度より医学研究科における研究の充実とその活性化を図るため医学研究科の助成制度（東京慈恵会医科大学医学研究科研究推進費）を創設し、平成21年度は6件採択した。（前年比+3）